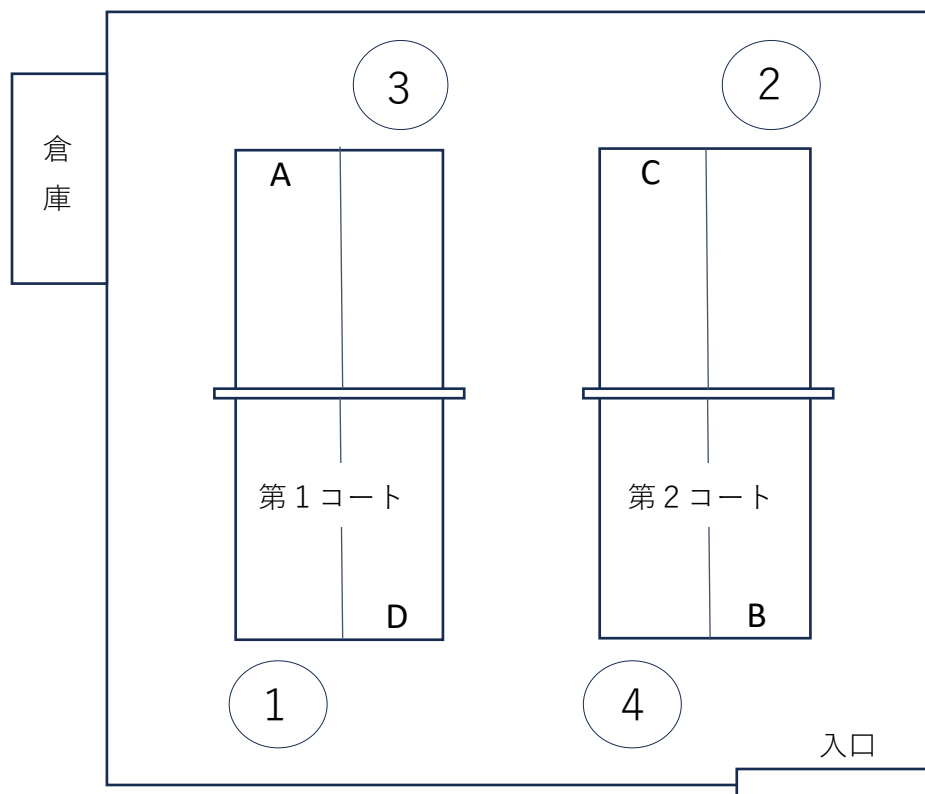


- 1、目的：会員数の増加に伴い待機人員が常態化してしまい、休憩及び再復帰の仕組みを明確にする必要が出てきた。
- 2、考え方：入れ替え場所をあらかじめ選定し、待機人数（9人目以降）に応じ指定場所に順次1名ずつの入れ替えを行っていく。
- 3、具体案
  - ・ 下図の通り待機者と復帰者との入れ替わる場所を①～④までの順序で決めておく。
    - ・・・○印は入れ替え場所、○内の数字は待機人数を示す。
  - ・ 1回終了ごとに反時計回りに1か所ずつ移動する。（現状の8名体制の場合と同じ）
  - ・ 待機者1名の場合・・・下図A個所終了後、対面コート①へ移動前に1回休憩
  - ・ 待機者2名の場合・・・下図A及びB個所終了後、対面コート①、②へ移動前に1回休憩
  - ・ 待機者3名の場合・・・下図A・B・C個所終了後、対面コート①、②及びコート変更③へ移動前に1回休憩とする。  
（この場合②、③側は各コート2回プレー後1回休み）
  - ・ 待機者4名の場合・・・下図A・B・C・D個所終了後、対面コート①、②及びコート変更③、④へ移動前に1回休憩とする。  
（この場合は全員2回終了後1回休みの繰り返し）
  - ・ 休憩者が復帰する場合は、休憩前箇所の次の個所に入る。

&lt;コート配置図&gt;



- 4、メリット
  - ・ ペア相手、対戦相手が都度入れ替わり、プレーに変化ができてくる。
- 5、注記
  - ・ 全会員数14名だが、長期欠席者が2名のため当面最大12名となり、上記対応の範囲でクリア可能。
  - ・ 以上のやり方を原則とするが、10時30分以降は休憩者も増えるため、当日の流れに任せ都度対応とする。